

## このままだと冬が無くなる？！ 地球温暖化の恐怖

本来、大気に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスには、地球の表面から地球外への熱の放出を抑える働きがあり、このおかげで地球の気温を保っています。ところが、人間の活動による化石燃料の使用や森林の減少などにより、大気中の温室効果ガスが急激に増加し、地球規模の気温上昇が起っています。

### 2100年 未来の天気予報 夏の最高気温

今のままの生活を続けていると、子どもたちが大人になる頃には、平均気温が4.8℃上がると予測されています。

動画をCHECK



那覇 38.5

福岡 41.9

鹿児島 41.0

高知 42.0

大阪 42.7

名古屋 44.1

東京 43.3

広島 42.3

松江 42.1

金沢 42.4

新潟 43.8

仙台 41.1

秋田 42.5

札幌 40.5

出典：環境省

近年、猛暑や豪雨など、地球温暖化が原因とみられる異常気象が世界的に増加しています。地球温暖化対策は、こうした災害から人々の生命や財産、社会インフラ、自然生態系を守るために不可欠です。



# 地域協働で

# 目指す

# ゼロカーボン

# シティ

環境課 電話(45)6223

「カーボンニュートラル」という言葉を皆さんは聞いたことがありますか。人間の活動により、大量に排出された二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスは、地球規模の気温上昇を引き起こし、さまざまな異常気象の発生に影響していると言われています。世界的な平均気温上昇を抑えるため、現在120以上の国と地域が、温室効果ガスの排出量を植林や森林管理などによる吸収量と差し引いて実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

市が、ゼロカーボンシティを宣言してからもうすぐ2年。その実現のためには、皆さん一人一人の環境配慮行動が欠かせません。地球の未来を守るため、私たちにできることから始めてみませんか。

## カーボンニュートラルな社会へ さまざまな取り組みを推進

平成27年に開催された国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べ1.5℃に抑えるため、全ての参加国が温室効果ガス排出削減に取り組む「パリ協定」が合意されました。これを受け、市では令和3年1月に、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目標に掲げ、「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

### 目指すは、環境に配慮した社会づくり

#### Society 01 循環型社会づくり

- 都市鉱山からつくる！  
みんなのメダルプロジェクト
- 東京五輪・パラリンピックで使用されるメダルを使用済みの小型家電に含まれる金属をリサイクルして製作するプロジェクトを実施しました。その後も、小型家電を継続して回収しています。

#### Society 02 脱炭素社会づくり

- 次世代自動車購入費補助制度  
電気自動車などの次世代自動車を新規購入した方に対する補助制度を開始し、次世代自動車の普及啓発を推進しています。
- エコライフの普及啓発  
環境に優しいライフスタイルの促進のため、緑のカーテン講座や生活排水・ごみの減量などをテーマにした環境講座を行っています。

#### Society 03 自然共生社会づくり

- いきもの観察会  
自然環境の保全や生物多様性の啓発のため、市内の公園や川などで、いきもの観察会を開催しています。
- アサギマダラ飛来の拠点づくり  
二ツ池セレトナを拠点とした、旅するチョウ「アサギマダラ」飛来のための環境整備を進めています。知多半島の自治体や団体による情報交換の場を創設し、広域的な連携を行っています。

## ゼロカーボンシティの実現





## Interview

### 心が温まるエコアクション 思いやりの輪が広がってほしい

子育て支援サークル あそびのいっば 大橋房代さん

家庭で不要な食品などを寄付してもらい、必要としている子育て家庭に届けるフードドライブ活動をしています。個人からの寄付以外にも、企業からは賞味期限が差し迫った商品など、農家からは形が悪く売れない野菜などを寄付してもらっています。食品を届けるとき、誰がどんな思いで寄付してくれたのかを伝えています。その思いを知り、お礼の手紙をくれる人もいて、気持ちのバトンがつながっていることを実感できます。フードドライブは、誰でも簡単にできるエコアクションです。家に残っているものをお裾分けする感覚で、協力していただけたらと思います。



### 今すぐできる台所からSDGs 少しの工夫で循環生活を

市地域婦人団体連絡協議会の皆さん

私たちは約30年間アスパを作り、生ごみの減量に取り組んできました。昨年からは、アスパの使い方を教える講座を開いて、利用を促す活動をしています。アスパは、堆肥化に有効な微生物が含まれているので、生ごみの臭いも出さず、良い肥料に変えてくれます。生ごみを捨てることは簡単ですが、少し時間をかけることで、生ごみを焼却する必要がなくなります。その一手間を生活サイクルに入れてもらい、みんなで一緒に生ごみを減らしていきたいです。私たちの啓発によって、少しでもアスパを有効に使ってくれる人が増えたらいいなと思います。



プラスチックは私たちの生活に役立っているけれど、動物に害を与えているものもあると知りました。

ごみが、動物の体に絡まっている写真を見て苦しくなった。絶対にゴミ捨てはしないと誓います。

自分が想像していたより、ごみがたくさん出されていることを知ってびっくりした。

まずは家庭でもできることから始めて、地球のために少しでもごみを減らしていきたい。

授業の一環で、至学館大学周辺のごみ拾いをしました。想像以上にごみが落ちていて、それから何度かごみ拾い活動に参加しています。一人一人がごみを捨てないという意識を持ってほしいです。

たばこやビール缶など、大人が捨てているごみが多かったです。ごみが落ちていと捨ててもいいのかと悩んでしまうので、子どもたちの模範となるような行動を心掛けてほしいです。



環境講座に参加した子どもたち



クリーン・アップ・ザ・ワールドに参加した学生

### みんなで一緒にゼロカーボンシティへ挑戦しましょう

ゼロカーボンシティの実現には、市民の皆さんや事業者の協力が必要です。一人一人が自分のこととして環境を意識し、行動していくことが特に大切なことだと考え、市民・事業者・行政が、連携して協働でゼロカーボンシティ実現に向かっていくため、まち全体の環境意識の醸成や地域協働による環境づくりを皆さんと進めていきたいと思っています。

今回のシビック・エコアクション8とグリーンライフ・ポイント制度への参加を、環境問題に興味を持つきっかけにさせていただくことで、市民の皆さん一人一人のエコアクションが、地域協働によるゼロカーボンシティ実現につながっていくと考えています。

Voice



環境課 永井 優花

## できることから始めよう みんなで一緒にエコアクション

第3次大府市環境基本計画では、一人一人が自分のこととして環境を意識し、学び、気づき、そして行動をする市民を育てることを基本理念として掲げており、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて市民の環境意識の向上、環境配慮行動の促進、行動変容を促すことを目標の一つとしています。

そこで、一人一人が主体となって行うための身近な環境配慮行動を示した「シビック・エコアクション8」を策定しました。環境問題を身近に感じ、自分にできるエコアクションを見つけ、積極的に取り組んでみてください。



## シビック・エコアクション8

- Eco action 01 食べ残しや買い過ぎをしないことを意識して食品ロスを減らす
- Eco action 02 アスパなどを使って生ごみを堆肥化し、ごみを減らす
- Eco action 03 マイバッグを活用してレジ袋の削減に貢献する
- Eco action 04 夏のクールビズ・冬のウォームビズを意識して取り組む
- Eco action 05 家電などにおいて省エネ機器へ買い替える
- Eco action 06 次世代自動車への買い替え、自転車や徒歩による移動に取り組む
- Eco action 07 フジバカマ植栽やいきもの観察などを通じて自然環境保全に取り組む
- Eco action 08 環境保全イベントや環境学習講座に参加・協力する



## ポイントをためて景品をGET グリーンライフ・ポイント制度を活用しよう



10/1(土)から、対象となるシビック・エコアクション8に対してポイントを付与するグリーンライフ・ポイント制度を開始します。

### Project 01 家庭の省エネ生活チャレンジ

2カ月間、家庭の電気・ガスの使用量を削減した方に、二酸化炭素排出量の削減率に応じたポイントを付与します。そして、ポイントに応じた金額のプリペイドカードをプレゼントします。

- ▶ 応募期間 10/1(土)~31(月)
- ▶ 対象 市内在住の方(1世帯につき1回)
- ▶ 定員 200人(抽選)
- ▶ 申込 市ウェブサイトの申込フォームまたは、環境課・二ツ池セレクトナ・各公民館に設置する応募用紙に必要事項を記入の上、直接環境課へ。

### Project 02 環境配慮行動のスタートアップ

対象となる環境配慮行動を実践した方にポイントを付与します。3ポイント以上獲得した方の中から抽選で、電動アシストクロスバイクなどの景品をプレゼントします。

- ▶ 応募期間 10/1(土)~1/31(火)
- ▶ 対象 市内在住の方
- ▶ 対象行動 私のエコアクション宣言への署名  
ごみゼロ運動や環境講座などのイベント参加  
次世代自動車の購入
- ▶ 申込 環境課・二ツ池セレクトナ・各公民館で応募用紙を取得し、3ポイント1口で各施設の回収箱へ。